

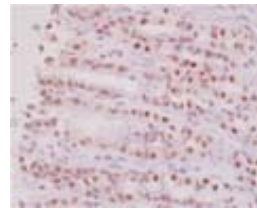
Anti human EAR2 mouse monoclonal antibody

EAR2: V-erbA related orphan nuclear receptor

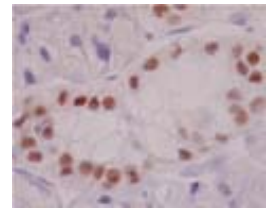
製品コード	PP-N2025-00
Clone No.	N2025
Lot.	A-1
濃度	1mg/mL
容量	100 μ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR2F6
Genbank	X12794
由来	ヒトEAR2 (13-44 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒトEAR2に特異的に反応する。ヒトCOUP-TF I, II には反応しない。マウスEAR2と交差反応しない。ラットEAR2と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN ₃ 添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 1 μ g/mL
非還元 Western Blot	可 参考使用濃度 1 μ g/mL
ELISA	可 参考使用濃度 0.2 μ g/mL (A450=1)
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
Supershift Assay	未検討 参考使用濃度 -
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
免疫染色	可 参考使用濃度 10 μ g/mL



ラット
胃上皮細胞
パラフィン切片



ラット
唾液腺
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献

備考 溶媒に含まれるNaN₃は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Nov 16, 2016